

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	リップコード・ローンチ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.510	△RG	0.048	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：RIPCORD LAUNCH

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：RIPCORD VELOCITY

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

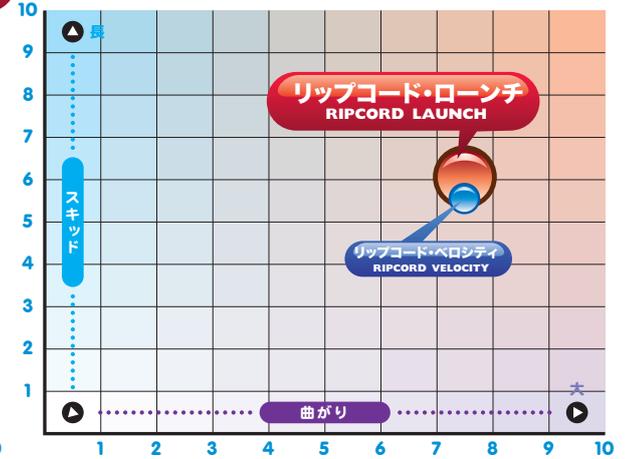
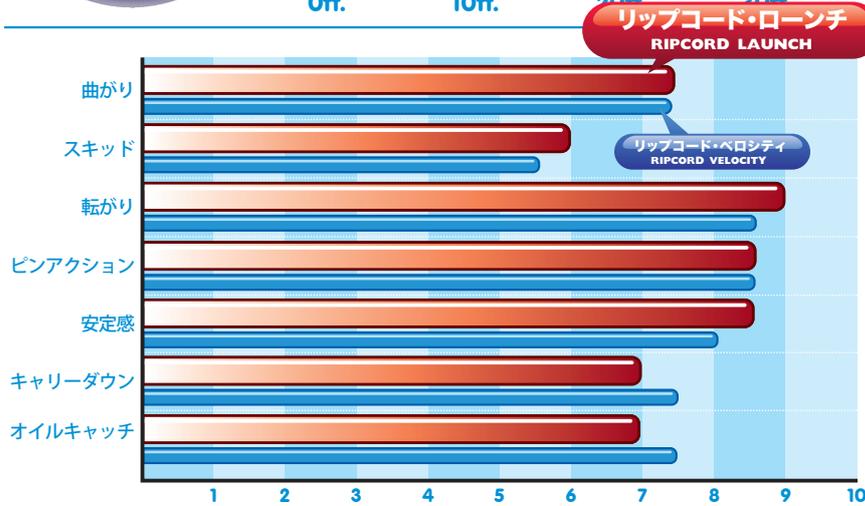
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

RIPCORDシリーズはMOTIV社の中でフレッシュなコンディションから削られてきた時、またはミディアムコンディションを主なステージとして位置付けられている領域のボールです。RIPCORDシリーズは、RIPCORD FLIGHT以外は一貫して走りを中心としバックエンドの動きを明確に打ち出しています。前作RIPCORD VELOCITY同様、今回のRIPCORD LAUNCHも中盤から後半攻めるライン取りができるボールに仕上がっています。今までRIPCORDと言えばOblivionコアという印象が強いブランドでしたが、このRIPCORD LAUNCHでTorx V2コアに変更されています。そしてカバーストックはPRIDE EMPIREで使用されたPropulsionをチューニングしたMVP Pearlバージョンで、今までのRIPCORDでもなく、PRIDE EMPIREでもない新たな領域を導き出したと言えるでしょう。

RIPCORD LAUNCHの第一印象は走る・転がるを真っ先に感じます。表面も5500 Grit LSPというMOTIV社の中では一番光沢のあるポリッシュ加工ではありますが、見た目の光沢のイメージよりもオイル上でのハンドリングが効く感じで、走りっぱなしのイメージは感じませんでした。今回コアがTorx V2に変わったことで手前からの転がり感が良くなったこと、これはTorxコアを使用していたFORZAの転がり感がトレースされていて、走りの中に転がり感が加わったことで以前のRIPCORDに比べパワーアップされています。PRIDE EMPIREの時にも感じたことですが、Propulsionカバーストックはオイル上の安定感は増しましたが、走りとキャッチを兼ね備えてバックエンドまでエネルギーを蓄えさせる意図を強く感じますので、手前のオイルは厚くともオイルが薄め、ないしはドライ部分を多く感じるコンディションでよりその性能を発揮すると思います。

特記事項

今までのRIPCORDをアップデートしてより走りとバックエンドの動きを強調させたスペックで登場です。転がり感が増し、ミディアムから下のコンディションで爽やかにラインを攻めることができます。